

2010-2011



ライオンズクラブ国際協会
336 - A地区 2 R - 4 Z

2011年 **1** 月号
No. 406

西条

ついにやった!

みんなで勝ち取った優勝



【 50周年記念事業 YE事業 特集号～前編～ 】

イタリア派遣報告記 ～塩出穂乃香さん～
来日生報告 ～SHAIレポート～

SAIJO LIONS CLUB

SAIJO LIONS CLUB

2010-2011 年度

国際会長 シッドL・スクラッグス三世

モットー 「WE SERVE(われわれは奉仕する)」
テーマ 「希望の光」

336 - A地区ガバナー 宇高 昭 造

スローガン 「明るく、やさしく、心をこめて ウィ・サーブ」
キーワード 「希望」

西条ライオンズクラブ会長 徳 増 達 史

スローガン 「ありがとう50年、友の絆でWE SERVE」
キーワード 「POSITIVE」

古 稀 を 迎 え て (S17.11.19生)

L. 越智英明

早いもので還暦を過ぎてからこのかた、もうこんな年令に達していました。

しかし、体力的にはさしたる変化もなく常に60代半ばのつもりです。それでは全くの健康体かと云われますと、以前からの高血圧で薬による治療と、適量の日本酒でコントロールしています。その他は今のところ大丈夫の様です。とりわけ歯だけは自前で全部揃っています。昨年、かかりつけの先生から、一度血管の弾力を調べてみましょうと云われました。いわゆる血管年令というものです。その結果、思ったより若いですね、と云われました。自分でもびっくり、50代後半でした。

まあ、こういったことが、まだ少し頑張れるな、という気持ちにさせている様です。

百才を過ぎて世界にまわって講演されている聖路加国際病院の日野原先生の著書の中に、孔子の論語や杜甫の詩にある「五十にして天命を知り」とか、「七十古来稀なり」などは、平均寿命の延びた現代では三十をプラスすると、ちょうど良いとあります。つまり「八十にして天命を知り」「百才古来稀なり」となります。なるほど、古稀、古稀とまるで首筋がこったようなことばはいまや死後であります。こんなわけで当分気持ち的に六十代半ばで頑張りたいと思っています。

さて、私が西条ライオンズクラブに入会させていただいたのは、昭和43年の9月であります。同期は西原 功先生です。このたびの50周年の記念誌製作にあたり、事務局で古い資料を見ていたら、若い頃の私の写真を見たメンバーから孫さんとそっくりだと云われました。そう、あれから43年も経ったのです。お蔭様でその間に知り合った、たくさんの方々が私の財産となっています。有難いことだと感謝申し上げます。今後、体力の続く限りウィ・サーブの精神を忘れず励みたいと思いますので、よろしくご指導お願いします。

還 暦 を 迎 え て (S26.2.26生)

L. 神野顕彰

解っていたことだけれど、いざその年令を迎えてみると「面映ゆい」というか得体の知れぬ感覚がある。終戦間もない昭和26年2月に産婆さんの手で取り上げられた。同級生の多くは寅年である。私は言う「黄色と黒のストライプのはいった兎です。・・・と。爾来、まだ戦後の余韻ただよう貧しさの中、私達の発育に合わせるが如く、恥も外聞もかなぐり捨て、世界の奇跡とされた高度経済成長期へ突入。中学校の同級生の多くは「金の卵」と称され企業戦士予備軍として卒業していった。教育は社会で自立する為のものである。当時の教育にそんな力があつたか不明ではあるが、親達を始め社会全体にそういった受け皿があつたことを想う。暦は一周りした、二周りは当然ない。「私」の人生に最大の影響を与えたもの、それは誰でもなく「テレビ」である。テレビはこんな「私」の脳や精神にする為、昼夜を分かたず働き続けてきた。そして地上デジタル化。時間がなんぼあっても足りなくなってきた。還暦を迎え決断する。「もうテレビから離れよう!」・・・と。

平成23年正月・辛卯歳(辛卯年・還暦男)之誌

還 暦 を 迎 え て (S26.7.2生)

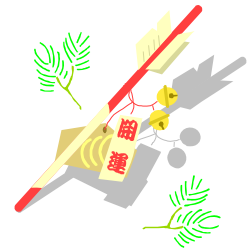
L. 仁後真貴雄

還暦? 他人事と思っていたのにいつの間にか自分がその年になってしまった。ここ10年の時の過ぎ行く早さは驚くばかりです。気持ちは10年ぐらい若い気持ちでまだまだ負けなと思っていますが、すぐ忘れる、物覚えが悪い、関節が痛い・・・無理の利かない年相応となりました。(> . <) 男の厄は25才、42才、60才ですが、25才で子供が3人、42才で娘2人にはお腹に孫、おまけに「心筋梗塞」、60才になる今、孫が8人、古稀を迎える頃にはひ孫が何人? できればその時を迎えたいです。60才という年齢を一つの区切りとして何事にも前向きな行動を忘れず、健康管理に注意を払い、又、ライオンズクラブの活動にも情熱を傾けて行きたいと思います。

今後共宜しくご指導お願い致します。

私は昭和45年生まれで、今年が本厄の年となります。
この西条の地で生まれで、これまで大した病気や怪我もなく過ごせてこれましたが、ここ最近少し体力が落ちてきたかなと感じる時があります。厄年は厄災が降りかかるとされる年齢のことだということで、これも何か関係があるのでしょうか。

昨年、西条ライオンズクラブに入会させていただきました。会員の皆様は、私よりも年上の方々ばかりですが、お元気で活力のある人が多いと感じます。それは、地域社会に貢献したり、社会奉仕に精進しようとする気持ちが、その活力につながっているのではないかと感じております。
私も、この1年間を忌み慎むとともに、少しでも社会の役に立てるよう精進してまいります。



年明け第1例会は、1月11日(火)に西条国際ホテル神殿にて開催されました。石鎚神社より宮司様にお越しいただき、本年、年賀を迎えられたメンバーをはじめ、今年1年のクラブの繁栄と会員の健康を願ってご祈祷していただきました。会場の雰囲気も相まって、厳粛に執り行われた新年例会となりました。



50周年記念事業

《 2010 - 2011年度冬期YE派遣事業 ~イタリア派遣~ を終えて 》

IT - 6 塩出穂乃香

私は12月21日から1月12日の22日間イタリアのプーリア州に語学研修に行かせていただきました。2週間はキャンプで、最後の1週間はホームステイという日程でした。一番不安だったキャンプがとても楽しく、毎日どこかに行ったりパーティーをしたりしていました。マテラにある世界遺産のサッシは夜も昼もとてもきれいでたくさんの写真を撮りました。イタリアにはたくさんの世界遺産があり、いくつかの世界遺産を見に連れて行っていただきました。どこへ行っても景色がとても綺麗で感動することばかりでした。イタリアの方々はとても親切で陽気で楽しい毎日を過ごしました。カステルデルモンテやサッシ、メタポント、隕石が落ちたという場所、昔人が住みかにならしたたくさんの洞窟など、日本では見ることのできない風景をたくさん見させていただきました。少しだけイタリアのツーリズムについて勉強してから行きましたが、映像や写真では学ぶことのできない空気感や雰囲気を学べたのでとても嬉しかったです。少し困ったことは、私が普段勉強している英語とイタリアの方が話す英語は発音が全く違う事です。イタリアの方たちはRを発音し、Hを発音しません。慣れるまではなにを言われているのかわからず、一緒にキャンプに行った亀川さんと首をかしげていました。しかし、よくわかっていない私たちにも優しく何度も話しかけてくれました。慣れない生活リズムや時差ぼけで少し体調を崩した時も本当に心配して何度も声を掛けてくれました。体調を崩した事をうまく伝えられなくても一生懸

命聞いてくれて優しく接してくれてとても嬉しく思いました。
 イタリア語の挨拶やかんたんな単語などを教えてもらって、英語とイタリア語で生活していました。
 イタリア語は日本人にも発音しやすいので、覚えやすかったです。普段言語の勉強をしているので英語以外の言語や、訛りのある英語に触れられて、すごく勉強になりました。
 言葉が少し通じるようになってはまだ困ることはありました。日本人の曖昧な感情表現では現地の方々を困らせるだけでした。イエスかノーのどちらかしかないのに、どちらでもいいという反応をすると少し怒られたりもしました。はっきりとした感情表現に慣れていないので、自分の感情を表すとき、相手の感情を受け取る時に困惑してしまいました。
 もともとヨーロッパには興味があり、イタリアやスペインについて少し勉強をしていましたが、ますます興味や関心が高まりました。日本とは全く違う生活スタイルや考え方、風景や空気感など、とても勉強になりました。たくさんの国の人たちと触れ合い一緒に生活することで学ぶことがたくさんあり、日本の常識は世界では非常識になりうることもわかりました。たいへん貴重な経験をさせていただいたことを本当に感謝しています。この経験を生かして、将来は何か海外と日本の中継をできるような仕事につきたいです。

最後になりましたが、西条ライオンズクラブの皆様のお蔭で私には大変貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。Grazie mille!



例会訪問



イタリアでのキャンプ



御世話になったマンマと一緒に



地元のサッカーチームと



ホストファミリー



お寿司を御礼に作りました



タランテッラとタンゴ



ツリーにつけるりんご磨き



NEW YEAR PARTY

日本での5週間のホームステイ滞在が今、終わろうとしています。私にとって最高の5週間でした。たくさんの人に温かい歓迎を受け、数々の日本文化に接することができました。特に、藤田、花山、両ファミリーには大変御世話になり、たくさんの素敵な思い出をいただいたことに感謝いたします。非常にタイトなスケジュールの5週間でしたが、日本の美、特に西条市の素晴らしさを満喫できました。

最初の数日間は、西条高校のクラスに参加させていただきました。日本語の読み書きができない私には、わからないことばかりでしたが、学校とは学ぶところです。少しでも理解できたらと思い、懸命に授業に取り組みました。2人の幼い姉妹（さくちゃん、るーちゃん）や、クラスメイトの佐伯しおんさん達の助けを得て、ほんの少しですが、カタカナと平仮名が解るようになりました。みなさん、ありがとう。次の週には、ライオンズ交換留学生のウィンターキャンプに3日間参加しました。岡山県新見市で行われたキャンプでは、イタリア、マレーシア、ペルー・オーストラリアなど様々な国からの留学生と一緒に、お茶、公衆浴場、日本食などの日本の伝統文化に親しむ機会を得ることができました。また、スキーも教えていただき友達もたくさんできて、非常に楽しい時を過ごさせてもらいました。家族から離れて迎えるクリスマスとお正月は私にとって初めての経験でした。クリスマスの日には「餅つき」と「剣道」を経験し、大晦日にはお寺に行って「除夜の鐘」をつくことができました。そのまま新年を迎え、石鎚神社へ初詣に行きました。

日本で最初の2週間のホストファミリーは、藤田さん。次に花山さんに迎えられ、その後、藤田さんのお宅に戻りました。両家の皆さんと素晴らしい時を過ごし、家族の一員となれたことを誇りに思います。藤田家の皆さんには本当に素敵な思い出をたくさんいただきました。特に、さくちゃんと、るーちゃんの幼い姉妹に教えてもらった言葉「ゲッツ！シャイちゃんです（特別に意味はないと思うのですが）」にはとても愛着があり、忘れがたい思い出となりました。花山さんのご家族とも楽しくおもしろい時間を過ごし、笑いも微笑が絶えませんでした。なかでも、マオリの表情や動きを模したMr.花山のダンスはまさにエンターティナーでした。

このように、両家の皆さんには本当の家族の一員のように歓待していただき、感謝感激の思いです。また再び皆さんのところへ、西条へ帰ってきたい気持ちでいっぱいです。

私のスケジュール全てをたてて下さった寺川委員長、毎日のように、どこへ行くにも送り迎えの労を執っていただきました。おかげさまで、西条市、日本についてたくさんのことを学び、体験させていただき、本当に感謝しています。

西条ライオンズクラブ様、まず交換留学生として私を受け入れていただきましたこと、そして素晴らしいホストファミリーをお世話いただき、日本での実生活を体験する機会を与えてくださったことに感謝いたします。ありがとうございました。

By SHAIちゃん



西条市長表敬訪問



お茶のお稽古も頑張りました



西条高校のクラスメイトと一緒に



リーグ戦の組み合わせが届いた。昨年は伊予土居に負け、ベスト4に泣いた事を思い出した。今年こそはと苦しい練習に耐え、ミルキー（ママさんバレー）に練習試合をしてもらい、自信をつけてきた。西条A・Bチームのメンバー構成も迷うことなく昨年どおりとした。試合当日、体育館を見渡すと修一郎L・昭治L・考司L・加藤茂夫妻・徳増夫妻・花山夫妻そして基弘L応援団長がこの日の為に作った団旗をなびかせエールを送っている。皆スタンバイOK！Aチームの試合が始まった。自称総監督の正己Lがスパイクを次々に決める。これはいけるぞ！半袖半ズボンで軽やかにトスを上げる徳増会長と、真弓LLの息が合い、強烈な両手スパイクが決まる。相手の粘りに負けじと、稔Lが手のひらレシーブで応戦。さらにラリーが続く。今治Aチーム相手にほれほれするプレーの連続である。「もう1点」と学キャプテンが皆に掛け声をかける。土居Lが土居スマイルで答える。とても良い雰囲気です初戦突破！続く第二試合は、新居浜別子チーム相手にフルセットにもつれ込んだ。驚きは、仁後Lの10点連続サーブ。この粘りの甲斐あって、決勝トーナメントに進出。相手の今治くるしまチームに負けはしたものの、堂々のベスト8である。Bチームの決勝トーナメントの相手は4年連続優勝の今治東チーム。ここでローテーションを変えるべきか弘道Lの意見を聞いた。「変更しない、すべきでない！皆の気持ち揺らいではいけない、勝ちたいと思う強い気持ちの方が大事だ！」事実上の決勝戦が始まった。「まず、先取点を取ろう」原Lの激が飛んだ。まことLLがうなずく。羨ましい夫婦である。自分で決めたスパイクにほれほれしている植木Lがいる。登美さんのスパイクが冴えわたる。バックから思い切ってジャンプアタックする寺尾Lがいる。野間Lの確実な返球。雅顕Lのプレーは、さすが元バレー部。第一・二試合は、勝ちたい気持ちが先に出過ぎて、誰もがミスをしていた気がするが、今は違う。応援団の気持ちが、伝わってくる。「今治東に勝てる！」メンバー各自の、この自信はどこから来ているのだろうか。準決勝2 - 0今治くるしまチーム・決勝2 - 0伊予三島法皇チームで勝利！！優勝の瞬間、全員で喜んだ。応援団と一緒にハイタッチした。【優勝したのだ。】この優勝の余韻を何時までも、何時までも、味わっていたい仲間が焼き肉大将にいた。レクバレー大会での「チームワーク」は、どこのライオンズクラブよりも素晴らしく、そして温かく思えた。今年50周年記念のテーマ「ありがとう」に、もう1つありがとうが増えた気がする。応援に来て下さった方々やいつも励まして下さったメンバーに感謝いたします。

ありがとうございました。



Aチーム勝利のピース



Bチーム勝利のスマイル



興奮さめやらぬ祝勝会

【編集後記】

今年の春は遠く感じるの私だけでしょうか。久々の雪に西条中が雪化粧しましたね。さて、クラブにも本格的な記念事業が次々と始まり、次第に慌しい雰囲気が漂ってまいりました。先の「2R親善スポーツ大会」初優勝の余韻にひたる間もなかったのが、少しだけ残念でした。来る5月29日に開催される記念大会には一人ひとりの想いを反映した心に残る大会、1年にしたいものです。

PR・広報委員長 近藤基弘

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 徳増達史
幹事 福島讓
PR・広報委員長 近藤基弘
編集委員 越智英明・加藤茂
松浦裕・原育雄
高木和幸
例会日 第2・第4火曜日（変更になりました）
例会場 西条国際ホテル（"）
印刷 西条ライオンズクラブ事務局